

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年7月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) (099) 213-9950
自己評価作成日	2019年4月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	2019年6月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

● 尊厳をもってその人らしい暮らしができるようにお手伝いします
 ● ゆったりと暮らせる環境を一緒に作って行きます
 ● 地域の一員としての橋渡しを行います

を理念に掲げ、ご利用者、ご家族との関係性を大切にしている。行事もご家族参加型の行事に取り組み、家族会を開催してご利用者の日々の暮らしを知って頂いたり、ご要望や相談しやすい環境作りに取り組んでいる。また鹿児島市の中心に位置し交通の便にも恵まれているため、おはら祭りやハンヤ、地域小学校での行事など外出しやすい環境である。行事なども事業所(通所介護事業所やサービス付高齢者専用賃貸住宅)と合同での行事やレクリエーションなどの交流を行っている。また沖野循環器科病院が併設であり、定期的地震や緊急時に対応ができ安心して生活が出来るように支援している。外部評価に参加したり、内部研修開催し年間計画を立ててケアの質向上に向けて努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は同ビル内に同法人のサービス付き高齢者住宅、デイサービス、訪問リハビリテーション等、複数の施設がある。併設して母体の医療機関があり、緊急時や日常の健康管理ができ本人、家族の安心につながっている。

・町内会に加入し、地域の行事に積極的に参加し廃品回収、おはら祭り、小学校の運動会、敬老会等で交流を図り地域と積極的に交流を行っている。

・管理者を中心に職員間のコミュニケーションが良く楽しい職場である。職員の勤務年数が長く働きやすい環境があり、管理者は職員の意見や提案を運営に反映させ、研修会への参加も奨励している。

・家族と利用者の絆、ホームと家族間の信頼関係を大切に、家族会やホーム便り、家族参加の行事などで交流を図っている。

・理念である、「尊厳のあるその人らしい暮らし」を柱に、職員は一貫性をもった介護サービスを利用者に提供し、支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各階にて共有し、年1回勉強会において意見交換や振り返りを行っている。また、入所より介護度の重度化みられるも、地域とのつながりや、住み慣れた地域で生活できるよう努めている。	尊厳をもってその人らしい暮らしができるように、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念をパンフレットや玄関・事業所内に掲示している。年に1回勉強会で振り返りを行っている。理念を共有しながら日々のケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、行事において物品を借りたり食品の配達もして頂いており、日常的に交流をしているが、今後は更に町内会の活用、また防災や事故へのリスクマネジメントにおいてもつながりのある暮らしづくりに努める。	町内会に加入し、おはら祭や小学校の運動会、廃品回収、敬老会など地域の行事に参加している。児童クラブの子ども達との交流やボランティアの受け入れをして、日常的に親しく近隣との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域を通しての認知症への理解は今後も発信し努力する必要がある。運営推会議においても報告や相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、定期的開催し報告だけでなく相談も行い、地域目線でのアドバイスを頂きながらサービス向上へ活かしている。他事業所との交流もあり、会議の中で意見交換も行う為、有意義なものと感じている。身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会も設置し、報告を行っている。	2ヶ月毎に開催し、入居者の状況、行事、研修、ヒヤリハット、外部評価結果等の報告を行い、身体拘束廃止についての制度の見直しの話し合いも行っている。地域の情報や提案、新聞記事の情報交換等、出された意見はサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的な報告（事故報告や、空床報告）だけでなく、日常的に不明な点や運営面での相談も行っている。今後も理解して学び、協力関係を築きながらサービス向上に活かしたいと思う。	市担当者とは電話や窓口に出かけ、事故報告や事業所の運営・取組についての相談や助言を貰っている。市主催の研修会には積極的に参加し、介護相談員の受け入れも行い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホーム内での勉強会や個々においても積極的に外部研修へ参加し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。運営推進会議において委員会を設置し、報告を行っている。正しい理解とケアの取り組みに今後も務めるようにする。	身体拘束適正化委員会を中心に指針を基に2ヶ月毎に開催している。研修会も年に2回は実施している。事例を挙げて言葉による拘束も含め、身体を拘束しないケアの共有を図っている。日中は玄関の施錠はしていない。利用者本位に考えてケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会（1年に1回）を行い、新たな取り組みや見直しを行っている。身体拘束と同様に正しい理解が必要と感じており勉強会だけでなく、日々のケアの中でも虐待になりえる事例ではないか等職員同士でも注意し合い、ストレスマネジメントや防止に努めている。（言葉遣いやケア）		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	今後も課題の一つとして、学ぶ機会をもち勉強会や研修への参加が必要と感じている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時前においても家族様としっかり話す時間を持ち、十分な説明、理解、納得を図っている。特に環境が変わる事における利用者様への影響も説明し、同意を得ている。また契約後も定期的に面会時での報告や支援計画の説明等行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族様からの意見や相談内容、苦情は早期解決に努め、またこちらからも面会時に定期的に利用者様の状態報告を行い、反映につなげている。また管理者においても解決が難しいと感じた際は、関係機関への紹介、法人への報告、全体で統一する事は各階でのカンファ事例に上げている。	利用者からは日常の関わりの中で聴き取り、家族からは面会や家族会の時に利用者の状態を報告し、意見や要望を聞くように努めている。献立の掲示場所、避難場所の件等、家族と相談しながら運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案は、定期的な会議（職員会議等）だけでなく、日ごろからコミュニケーションを図り、相談解決に努めるようにしている。その際、法人にも必要に応じ連絡、報告を行い、早期における職員意見の反映に努める。	職員とは日常のコミュニケーションが良くとれている。毎月の職員会議でも意見や提案が出されている。必要に応じて法人に相談することもあり、個人面談は年1回行っている。業務用マニュアルを作成し、職員は共有して実践、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人において管理しているが、グループホーム内においても個々における実績、やりがい、向上心を持って働けるような環境整備に努めるにしている。その際において職員個々の思いや支援内容にしっかりと目を向けるように今後も努力しなければならない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に外部研修へ参加したり、資格取得し自己研さんに取り組み、ケアに活かすように研修の紹介や研修費においても法人より機会を頂いており、働きながら参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議にて他GHさんと交流させて頂いているが、今後GH協議会への加入や同業者と交流する機会を積極的にもつ機会は大切だと感じる。今後の変化や改正等にも臨機応変に対応できるように情報収集やネットワーク作りに努める必要がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時における介護支援計画の中にも初期のプランに環境変化における不安や、場所に慣れる事を目標にし、また入所前の生活状況もご家族に聞き取りを行いながら支援継続できる部分は継続に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との関係性を大切にし、ご家族にとっても、安心してサービスが受けられるように相談の早期対応や、良好な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	支援していく中で、初期対応の見極めの大切さを感じており、また柔軟な対応に努めるようにしている。その際は各専門部署や協力機関にも相談を行い（往診や対応など）初期での的確な対応を心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用様本位を念頭に置き、本人様の暮らしや時間を優先しているが、職員も関わる事での一方的な支援ではなく家事動作をして頂いたり、またそこに役割があり、喜びをかんじて頂くことで、生活を共にする喜びも感じて頂きながらADLの低下防止にもなるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と本人様の関係性を大切にし、入所後も関係性や絆を大切にしながらの支援を心がけている。面会時でも定期的な報告を行ったり、外出、外泊支援も行ったり、外出レクや家族会においても参加の声掛けを行い、参加して頂いている。認知症状の進行等にてご家族の顔や名前が中々でなかったりすることもあるが、認知症への理解も含めて関係を築くように努めていく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前においても、本人様の生活環境や、友人関係、お仕事の関係、利用されていた美容院等本人、ご家族様からも情報収集を行い面会での支援や関係が途切れないように支援している。実際、教会の方々、ご友人や遠方からのご友人、ご親戚もいらっしゃる事もあり関係継続の支援を行っている。	家族や友人・知人の面会が多い。友人と旅行したり、馴染みの美容室訪問、家族と墓参り、電話や手紙の取次ぎも行っている。年末年始は自宅へ一時帰宅する者もあり、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	GHでの生活において認知症や疾患もあるため、職員が個々をしっかり把握し、また趣味や興味のあることも情報収集しながら、ご自分で思いを話せない方もいらっしゃる為その際は仲介に入り関係の支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用後も利用して頂いた感謝の気持ちを忘れずに、連絡やお手紙を書いたりまたご家族からも連絡をいただいたりしている。今後も変わらず継続していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前より生活の背景や、使い親しまれていた物への思い等、意向の把握に努めている。在宅での配置等や家具や位牌、食器も持って来られている方もいらっしゃるが今後も本人本位に対応に努め、ご家族にも情報収集を行いながら支援に努める。	入浴時や日頃の何気ない会話の中で仕事や昔の話を聞いたり、生活の楽しみを聞き、思いや意向を汲み取るようにしている。新聞を個人で購読希望、テレビ番組の希望等があり、祝い時に対応したり、困難な時は家族と相談し、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様の生活背景やされていた仕事、在宅での生活リズムや環境等、しっかりと聞き取りを行い、GHでの生活に反映できるよう努めている。また、交流関係（友人や仕事関係）も継続できるよう支援を行う。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズム、既往歴、認知症状からのBPSDの見極めも行い、介護支援計画に取り入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画に関して、入所前も面接を行い、しっかりと情報収集、また入所後も各専門部署と連携してモニタリングやアセスメントし、本人意向に沿いながら、定期的に見直しを行っている。	本人・家族の意向や情報をモニタリングや面会時に把握し主治医等の情報をまとめ、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月ごとに行い、状況に変化があった時はその都度見直しして現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	昨年度より、経過記録の見直しを行い、個人様の介護計画に即した記録記入の工夫を行う事によって、更に一人ひとりにあった支援に努めている。職員間でも申し送りだけでなく、記録にて細かく情報共有できている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様や、ご家族のニーズに対して、一方的な問題解決を行うのではなく、他職種や、専門での案内等を行い、柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源とのかかわりに関してGHでも更に把握し、活用に取り組む必要がある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は併設での主治医による受診や緊急時の対応を行い、また、24時間での併設病院との連携も行っている。ご家族様からも医療面での緊急体制に安心を感じますと言ってくださる事が多い。又、専門以外での受診も対応しており、入院時での受け入れや退院支援でも適切に支援できるように各部署と連携し、支援に努めている。	本人・家族の希望を聞き母体医療機関がかかりつけ医になっている。24時間医療連携体制が整っている。専門外の受診は紹介状を書いて対応している。歯科は訪問診療、皮膚科は往診で対応している。受診結果は家族に報告している。訪問看護や医療機関との連携が取れており適切な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃より、変化等生じた場合や緊急時の対応に関して適切な医療が受けられるよう、看護職員との情報共有、提供、相談、支援体制の確保に努めている。また訪問看護も受けており、相談援助支援を受けている。今後も継続して利用者様への支援につなげられるよう努める。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の対応に関して、併設病院の際は連携相談員と等して、情報共有や提供を行い、退院前だけでなく、入院時での情報共有、また、今後の見通しやご家族様からの相談対応にも努めている。やはりご家族様よりGHへ退院できるのか、もし退所になった際はどのようなになるのか、定期的にご家族様との話を持ち、料金等の説明も同意を頂き、納得されたうえで支援に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期をどのように過ごすかは本人様、ご家族様の判断になるが、当GHでは入所時の契約の際に説明を行い当GHでできる支援（介護と看護の違い等）も含めて、また実際にターミナルケアの際は再度介護計画の見直しや定期的な本人様、ご家族様の意見をお聞きし、主治医指導も元、慎重に支援を行っている。支援後も感謝の言葉を頂いたり、GHで最期を迎える事が出来てよかったです、とのお言葉を頂けた。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり契約時に本人・家族に説明し同意書を貰っている。状況の変化に伴い、再度方針を共有し取り組んでいる。看取りの意向がある場合は、主治医・職員が連携を取りながら支援している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応に関して、勉強会を行い、定期的な確認、見直しを行っている。特に離接事故に関しても見直しを行い、再発防止に努めている。また事故発生時は当日のうちにスタッフ間での検証、対策を話し合っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>災害対策に関して、年に2回、法人全体での避難訓練を行っている。又、防災において自然災害（洪水等）でのマニュアルの見直しを行い、また備蓄に関しても見直しを行っている。</p>	<p>年2回昼夜想定して消防署の指導のもと、関連施設と合同で避難訓練を実施している。地震からの火災想定で訓練を行っている。防災設備、エレベーターも定期的に点検している。通報訓練、避難経路、避難誘導、避難場所の確認など、消防署の指導を受けている。ハザードマップの見直しや防災マニュアルを整備している。備蓄について行政から確認もあり5年保存の水・ご飯・食料を用意する等、見直しを行った。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	GHは個室ではあるものの、共有スペースとの隣接や、共同生活の間でもあるため、特に個人様でのプライバシーの配慮やケアには気を付けている。掃除に入る際のお声かけや、排泄支援、入浴支援等、また、共有スペースでのトイレへのお声かけ等も配慮を行っている。プライバシーの侵害に当たらないか、職員間でも声掛けを行い、ケアに今後も務める。	排泄・入浴・入室時の声かけ、名前の呼び方、職員間の対話時の配慮、バイタルチェックの声かけ等、羞恥心にも気配りしている。職員間で連携して個々の人格を尊重した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症疾患にて自己決定が困難な方や、なかなか思いが言葉に出ない方（性格や疾患）に関して、声掛けの工夫を行い、二者択一やエピソード記憶等での発語を促したりご家族様にもお聞きし、本人様の好きな色や趣味等を話の内容に盛り込み、自己決定できるように働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	当GHにおいて4月より、リハビリでの改正等もあり、対応する中で、以前より増して利用者様ペースでの意向に即した支援ができていると思う。今後も利用者様のニーズに則した支援に努める。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人様の好み等をお聞きし、判断が困難な利用者様に関しては、ご家族様にも、本人様のお若い時の話等もお聞きし、支援を行っている。利用者様で、洋服をされていた方が、ほとんどご自分の洋服を手作りで作られていらっしゃる方もおられた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事支援に関して、当GHは、家事援助動作も含め、支援内容に含めている。もやしの芽とり、きぬさやのひげとり、メニュー考え、旬の食材等もメニューに取り入れている。キッチンも対面式になっており、作る過程や、包丁の音、においなど、一緒に作っているような支援を行っている。	市場から旬の野菜や新鮮な食材を購入している。対面キッチンの調理場で皮むきやもやしの根切り、片付け等を職員と一緒にしている。嗜好や形態に配慮して提供している。お正月、花見、節分、ひな祭り等の行事食が楽しみの一つになっている。口腔体操も行い食事が美味しく摂れる支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養支援に関して、主治医より、塩分、水分管理での指示等ある方もいらっしゃる。毎日水分量の計算、食事量の確認、声掛けの工夫を行い、健康管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人に応じて、口腔ケア支援、義歯消毒、また歯科医師での治療支援を行っている。勉強会にて定期的に口腔ケアについて学ぶ機会を持ち、その方に則した支援を行い、異常の早期発見に努めている。食事に時間がかかる方や残渣物が残る方え支援を行い、改善見られている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人に応じて排泄パターンの確認、見直し、必要時での尿測を行い、またオムツからトイレでの排泄を目標に支援にも入れ、支援を行っている。オムツの吸収量、リハビリパンツの厚さ等も気を付け、褥瘡予防にも努めている。	排泄チェック表を活用して、個々のパターンを把握している。声かけして、トイレでの排泄を支援している。リハビリパンツの種類も個々に合わせている。2人介助で対応する場合もある。利用開始時はおむつ使用の利用者がトイレでの排泄の自立ができるようになった事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期薬や頓服薬にて下剤を服用されている利用者様に関して、勉強会等で、腹部マッサージ等学んだり、排便の無い方に関しても毎日申し送りを行い便の形状等の申し送り、確認を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	当GHでは週3回入浴の時間を設けている。声掛けの工夫や、個人に則した入浴方法をしっかり確認共有し、支援に努めている。今後も継続して支援に努める。	週3回午前中に入浴日を設けている。その日の状況に合わせて入浴支援を行っている。体調や気分に合わせて声かけを工夫し、午後からの入浴を支援したり、清拭・足浴等、個々に応じて支援している。浴室に隣接してトイレがある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	全体的な就寝時時間を決めるのではなく、その方に応じての就寝の声掛けを行っている。睡眠パターンの確認を行い、今後も支援に努める。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関して、配薬、服薬後の第三者確認を行い、誤薬等の内容に支援に努めている。また薬の副作用での影響も確認し必要時は主治医へ報告、また日頃より薬剤師とも連携をとり相談援助を頂いている。勉強会でも定期的に学ぶ機会を設けるように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人様の趣味や嗜好、在宅時での生活状況等、ご家族様からもお話を聞き、GHでの生活が役割を得る事や楽しみがある事によって、喜びのある日々になるよう、今後も工夫や支援に努める。されていた運動等でも部活等思い出される方もいらっしゃる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	GHでの行事において月に度の行事、約3ヶ月に1回戸外への外出行事を行っている。その際はご家族へも声をかけさせていただいている。今後も継続的に支援を行い、季節を感じてもらい楽しんでもらえるよう努めていきたい。	年間計画を立て、普段行けないような場所に家族の協力を得て出かけている。花見、そうめん流し、コスモス見物、都市農業センター等へ出かけて季節を感じて楽しんでいる。近くの公園を散歩したり買い物に同行している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	GH内では金銭管理は事業所や、ご家族が行っているが、個別での嗜好品（ヤクルト）等、希望に応じて使えるように支援を行っている。今後も本人様の意向に沿った支援に努める。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯を所持されているご利用者様もいらっしゃる、自由に連絡も取られている。使用が困難な方に関しては、職員が介助を行っている。また遠方にいらっしゃるご家族へ、主介護者を通じて年賀はがきや暑中お見舞いを送り、大変喜ばれている。今後も支援の継続を行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境作りや整備には特に気を付け、認知症状でのBPSD要因にならないよう、また職員の言動、行動も要因になっていることを念頭におき支援に努めている。利用者様に心地いいと思ってもらえるよう、また安全優先や職員の一方向的なケアにもならないように努めていく必要がある。	共用空間は、窓から市街地が見渡せ、リビングは採光が良く、室温・湿度・換気が適切である。壁には利用者の作品や季節感のある作品が飾ってある。テレビが見えるように席の配慮もある。キッチン是对面式で調理の様子や利用者とは対話しながら料理を作り、和やかに居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々のプライバシーに十分配慮し、レクリエーション等も強制はせずに思い思いに過ごせる環境作りにも今後とも務め支援を行う。また席替えなどもその都度説明を行い、柔軟に対応を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室環境は、本人意向やご家族からも在宅時の状況や、使い親しまれていた家具や食器等の情報等聞き、居心地良く過ごせるように工夫している。また身体機能面にて環境整備等を行う際は本人様の意向を聞きながら、同意を得て行っている。	エアコン、ベッド、洗面台、タンスが設置してある。仏壇、位牌、テレビ、写真、ぬいぐるみ等、本人が使い慣れたものを居室において居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援にて、残存機能を生かした生活を目指し本人の長期目標も踏まえながら、できる事をしていただき、職員も環境整備を行い支援に努めていく。その際、ご家族への理解や説明も行い、GHでできる事、できない事の説明、それに伴うリスクの説明、同意も得ている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない